

## ISO/TC 68 国内委員会総会 議事録<sup>1</sup>

日 時：2023年12月15日（金）13：00～16：30  
場 所：日本銀行本店（Cisco Webex 会議）  
出席者：ISO/TC 68 国内委員会 松本委員長・委員・リエゾン・事務局  
日本銀行 武田決済機構局長、下田参事役 ほか

- 2023年12月15日に開催されたISO/TC 68 国内委員会総会の議事の模様は、以下のとおり（詳細は当日配付資料を一部抜粋した別添資料を参照）。

### 開会挨拶

ISO/TC 68 国内委員会委員長の松本横浜国立大学教授、日本銀行決済機構局の武田局長が開会挨拶を行った。

—— 松本委員長は、「今回の総会は、金融サービス分野における国際標準化への注目が高まる大事な時期の開催となったものと捉えている。ぜひ活発な議論をよろしくお願ひしたい。」と述べた。

—— 武田局長は、「国際標準化の重要性は、中央銀行が参加する様々な国際的議論の場でも、最近とみに注目されている。分散型台帳技術などを用いた新しい決済プラットフォームの実験が世界中で行われている中、決済システムのフラグメンテーションをもたらさないよう予め国際標準化を検討すべきとの問題意識が出てきている。G20 が目標に掲げるクロスボーダー送金の改善においても、TC68 の国際標準規格を用いた ISO 20022 型電文による決済情報の交換が鍵となる。国際標準規格の開発は、5年、10年先の未来を形作るべく、普及に向けた試練に耐える知的な頑健性が求められる重要な取り組みである。また、国内委員会の立場では、日本として、平時から国際標準規格の開発や、その採否を決める国際投票に積極的に関与していくことが大変重要である。委員の皆様には、こうした取り組みが日本や世界にとって望ましいものかという観点を持ちつつ、技

<sup>1</sup> ISO（International Organization for Standardization：国際標準化機構）/ TC 68（Technical Committee 68：金融サービス専門委員会）は、金融業務に利用される情報通信技術や情報セキュリティ技術等の国際標準化を担当している。ISO/TC 68 国内委員会は、ISO/TC 68 所管の金融サービス分野における国際標準化について国内での審議および情報共有等を行うことを目的とし、本委員会の総会は議長を務める委員長が招集して年2回程度開催すること、本委員会の審議はこの総会において行うことを原則としており、議事については議事録を作成する（ISO/TC 68 国内委員会運営規約 <https://www.boj.or.jp/paym/iso/isotc68/data/kiyaku.pdf>）。

術的見地での専門性を最大限発揮していただくことが、ISO の理念の実現にも繋がるものと考えている」と述べた。

## 1. 委員会審議

1-1. ISO/TC 68 の審議体制（2023 年 6 月総会以降の変更点、2023 年 12 月 1 日時点）

1-2. ISO/TC 68 国際投票案件の審議および投票結果（2023 年 6 月総会以降の進捗分、2023 年 12 月 1 日時点）

1-3. ISO/TC 68 国内委員会総会議事録（2023 年 6 月開催分）

事務局は、前回総会以降の ISO/TC 68 の審議体制の変更点と、この間にメール審議を実施した国際投票案件<sup>2</sup>の審議および投票結果の状況について説明を行った。また、日本銀行 HP 掲載済みの「前回総会議事録」についても確認を行った。

## 2. ISO/TC 68 の報告

2-1. SC2、2-2. SC8、2-3. SC9、2-4. TC68

最近の ISO/TC 68 の動向について、TC 68 および傘下の WG・MA・TG・AG 毎に、各国内作業部会の取り纏め役から、策定中のドラフトや規格について、概要・経緯・足もとの進捗状況・今後の作業スケジュールの報告項目について説明がなされた後、討議が行われた。

## 3. ISO/TC 68 関連の報告

3-1. ISO 20022 RMG

ISO 規格「ISO 20022」（ISO/TC 68/SC 9 所管）の登録管理グループ（ISO 20022 RMG）および同傘下の SEG 等の動向について、田貝氏（ISO 20022 RMG Convenor）および各 SEG 等の日本メンバーから、概要・経緯・足もとの進捗状況・今後の作業スケジュールの報告があり、その後討議が行われた。

## 4. リエゾンからの報告

---

<sup>2</sup> 国際規格の開発には、以下の 6 段階のプロセスがある\*。予備業務項目（PWI: Preliminary Work Item）→ 新業務項目提案（NP: New work item Proposal）→ 作業原案（WD: Working Draft）→ 委員会原案（CD: Committee Draft）→ 国際規格案（DIS: Draft International Standard）→ 国際規格（IS: International Standard）。  
※ 必要に応じて、DIS 投票時におけるコメントを踏まえた最終国際規格案（FDIS: Final Draft International Standard）の投票が実施され、その場合、7 段階のプロセスとなる。

#### 4-1. ISO/TC 307 (Blockchain and Distributed Ledger Technologies)

ISO/TC 307 国内審議委員会の鈴木委員より、TC 307 の最近の動向について報告が行われた。

#### 4-2. ISO/IEC JTC 1<sup>3</sup>/SC 17 (Cards and Security Devices for Personal Identification)

ISO/IEC JTC 1/SC 17 国内委員会の榊委員長より、SC 17 の最近の動向について報告が行われた。

#### 4-3. ISO/IEC JTC 1/SC 27 (IT Security Techniques)

ISO/IEC JTC 1/SC 27 専門委員会の近澤委員長より、SC 27 の最近の動向について報告が行われた。

#### 4-4. ISO/IEC JTC 1/SC 37 (Biometrics)

ISO/IEC JTC 1/SC 37 専門委員会の坂本委員長より、SC 37 の最近の動向について報告が行われた。

### 5. 事務局からの連絡

#### 5-1. 委員の異動、リエゾン交代 (2023 年 6 月総会以降の変更分、2023 年 12 月 1 日時点)

#### 5-2. 次回総会開催予定

事務局は、前回総会以降の ISO/TC 68 の WG 等新設・解散状況と委員の異動について説明を行った。また、次回総会開催予定については、ISO/TC 68 国内委員会総会は 2024 年 6 月 11 日に開催を予定していること、ISO/TC 68 国際会合および ISO 20022 RMG 国際会合は 2024 年 5 月 13 日～17 日 (米国：ミネソタ) で開催される予定であること等を連絡した。

#### 閉会挨拶

ISO/TC 68 国内委員会委員長の松本横浜国立大学教授が閉会挨拶を行った。

以 上

---

<sup>3</sup> ISO と IEC (International Electrotechnical Commission : 国際電気標準会議) との合同技術委員会。